

個別事業計画書

所管部署：企画管理部 企画推進課

(単位：千円)

事業名	パートナーシップ推進事業		細事業名		新継区分	新規	
総合振興計画の位置づけ	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く		根拠法令等				
	3 多様な担い手のパートナーシップを育てる						
	(1) 協働と市民参画の仕組みづくり						
事業実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度		年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	様々なまちづくりに関する取り組みについて、市民協働のあり方を重視した推進は不十分で、行政・市民ともに意識の変革が求められる。その前段として、市民協働の定義付けや、市民との意思疎通を図る必要がある。		各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成 20 年度	住民参加条例制定に向けた審議会の開催 住民参加条例の制定 協働について市民とともに考える場を設置する 大学連携による講座の開設	審議会の開催 7回 協働研究会の開催(職員向け) 2回 協働をテーマとする座談会の開催(市民向け) 4回 大学との連携による公開講座の開催 2回	867
具体的な実施内容	南丹市における「市民協働」の在り方を、職員及び市民が協働フォーラムの開催などを通じて共通認識を持つとともに協働の意識を高め合い、市民が主体となって推進できる取り組みを検討する。 また産学官の連携を推進し、知的資源の活用等によりさらに自立した活力ある地域づくりを推進する。			平成 21 年度	協働について市民とともに考える場を設置する 地域連携支援組織の設立 大学連携による講座の開設	協働研究会の開催(職員向け) 2回 協働をテーマとする座談会の開催(市民向け) 4回 地域連携支援組織の設立 大学との連携による公開講座の開催 2回	200
事業の目的	行政運営に市民も参画する土壌を構築する。			平成 22 年度	協働フォーラムの開催 地域連携支援会議の推進 大学連携による講座の開設	協働研究会の開催(職員向け) 2回 協働フォーラムの開催(市民向け) 1回 大学との連携による公開講座の開催 2回	190
事業の効果	「自らのまちづくりは自らの手で行う」という意識を市民が持つ。						